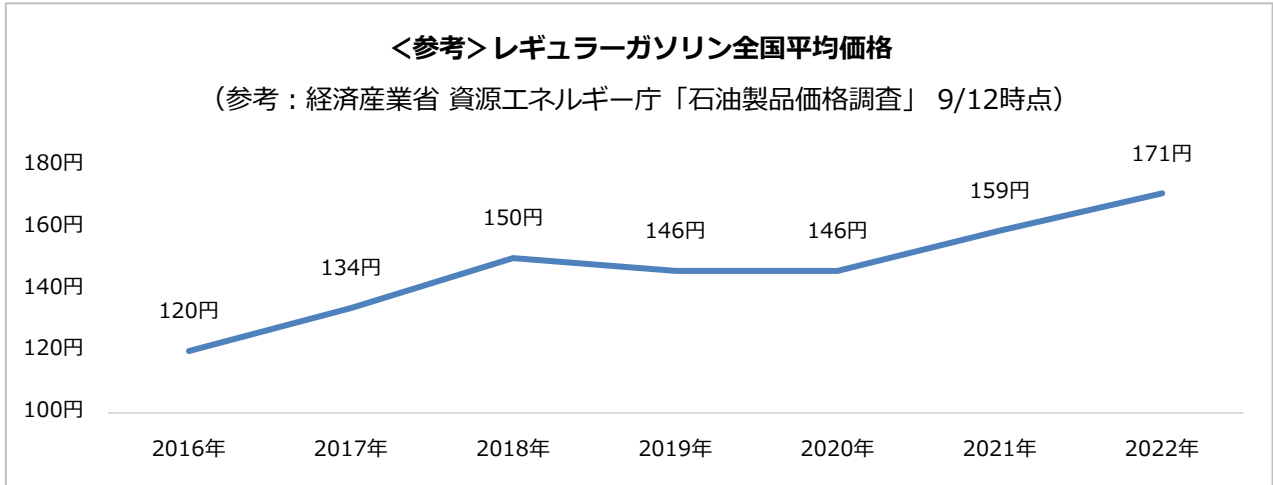




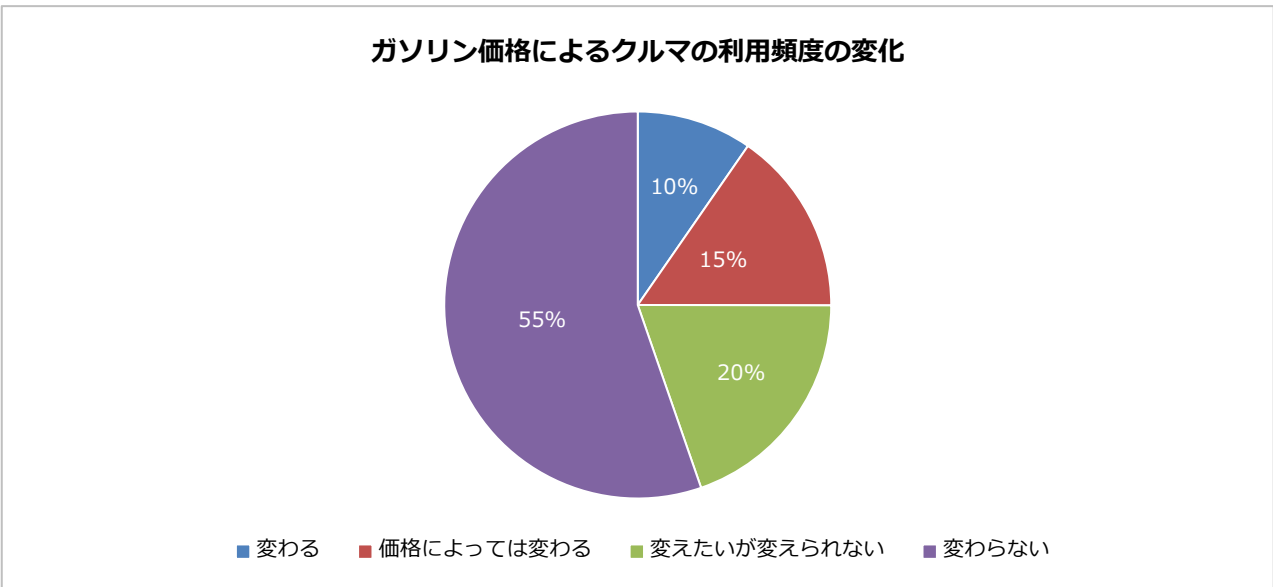
レギュラーガソリンの全国平均価格は、2017 年以降 130 円を下回ることなく、アンケートを開始した 2016 年と比べると 2022 年は 50 円以上値上がりしています。

特に今年に入ってからからは 175 円を超えることもあり、長引くガソリン価格高騰の影響で過去のアンケート結果よりも「130 円以上/L」や「140 円以上/L」を「高い」と感じる人が減少するなど、価格に対する意識が変化しているようです。



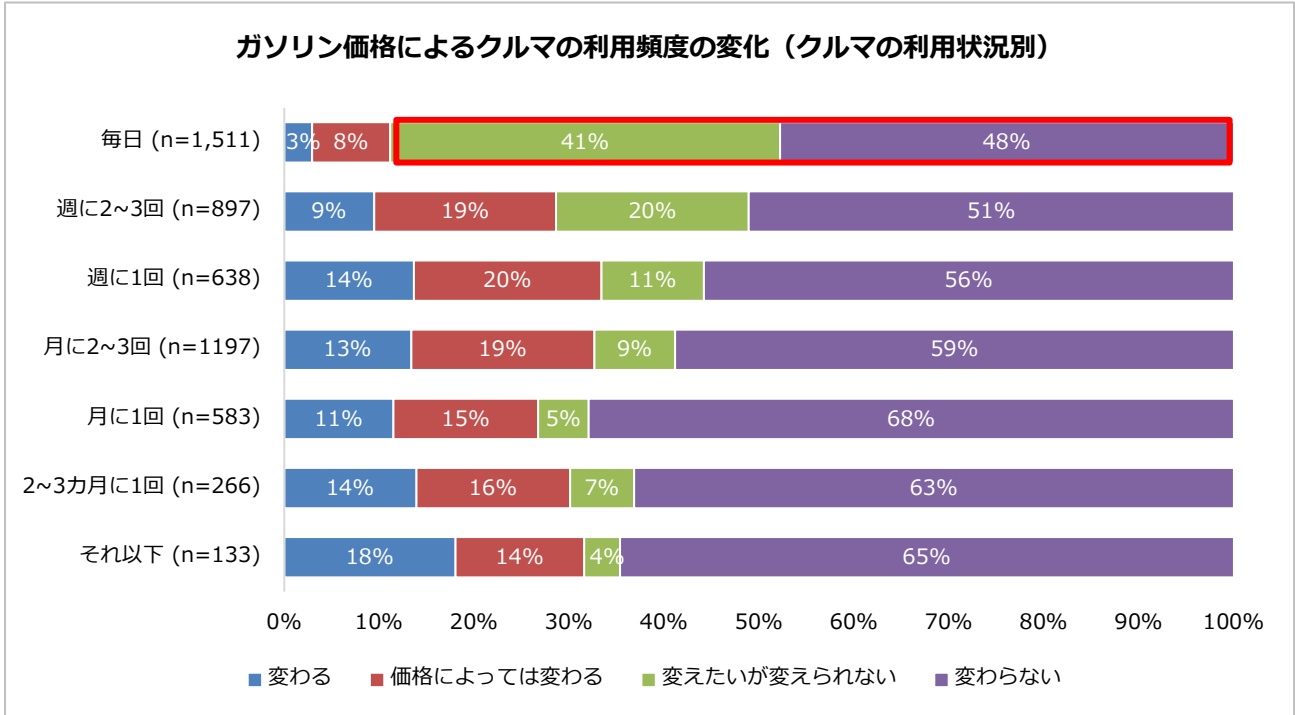
② 5人に1人が「ガソリン価格に応じてクルマの利用頻度を変えたいが変えられない」と回答

ガソリン価格によってクルマの利用頻度が「変わらない」は 55%で半数を超えました。また、5人に1人は「変えたくても変えられない」状況であることがわかりました。



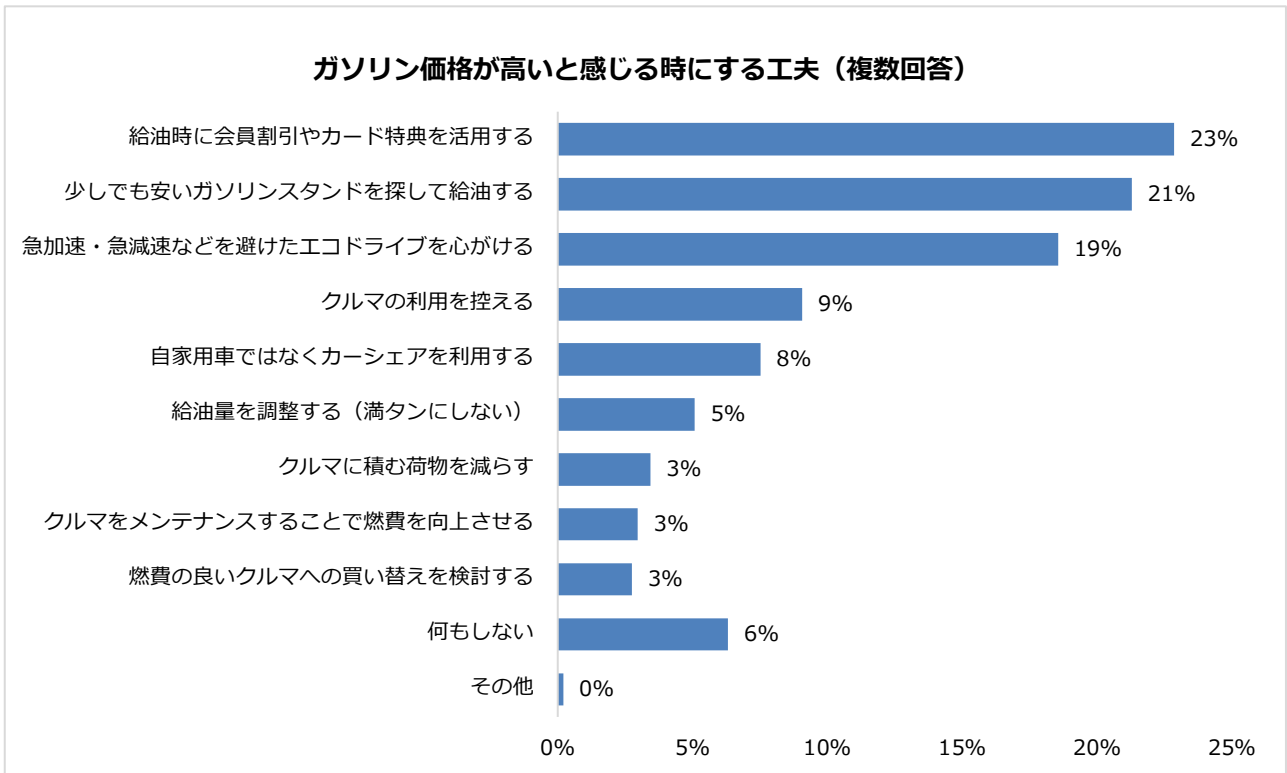


クルマの利用頻度別で見ると、クルマを「毎日」利用する人は「変えたいが変えられない」と「変わらない」で約9割となっています。その他の利用頻度においても、「変えたくても変えられない」「変わらない」で7割前後となっており、クルマを利用する人の多くは、ガソリン価格が変動してもこれまで通りクルマを使い続けるようです。



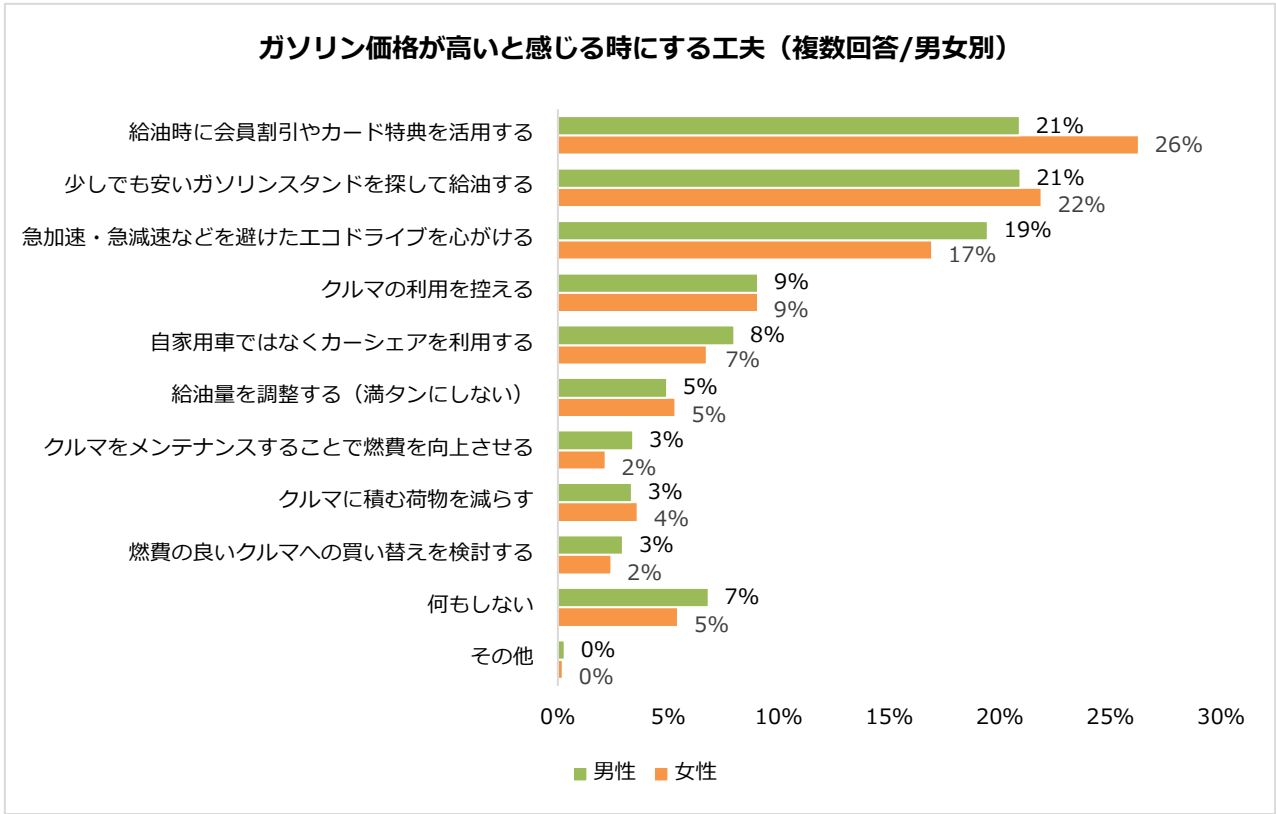
③ ガソリン価格が高いと感じる時にする工夫は「会員割引やカード特典を活用する」人が最多

ガソリン価格が高いと感じる時にする工夫は、「給油時に会員割引やカード特典を活用する」が23%と最も多くなりました。以降、「少しでも安いガソリンスタンドを探して給油する」、「急加速・急減速などを避けたエコドライブを心がける」、「クルマの利用を控える」、「自家用車ではなくカーシェアを利用する」の順となっています。





男女別で見ると、女性は「給油時に会員割引やカード特典を活用する」が26%で、男性よりも5ポイント高くなりましたが、男女とも全体的に大きな違いはなく、少しでもガソリン代を節約できるように工夫しているようです。



ガソリン価格に関するアンケートは過去4回に実施していますが、2016年を除き、実際のガソリン価格は各調査年で多くの人が「高い」と感じるガソリン価格を上回っています。

今年は「150円以上/L」が最多となりましたが、「120円以上/L」「130円以上/L」を高いと感じると回答した人も25%いることから、昨今のガソリン価格高騰はドライバーにとって負担となっていることが伺えます。しかし、クルマを利用する人は現在のガソリン価格を受け入れざるを得ない状況にあります。

パーク24グループが提供するカーシェアリングサービス「タイムズカー」は利用料金にガソリン代が含まれているため、ガソリン価格を気にせずにご利用いただけます。家計の節約手段の一つとして、カーシェアリングを活用してみたいはいかがでしょうか。

■調査概要
 調査対象：タイムズクラブ会員
 （2021年8月25日以降に入会し、直近でパーク24グループのサービス※を利用された方）
 ※対象サービス：時間貸駐車場・予約制駐車場・カーシェアリング・レンタカー
 調査方法：非公開型インターネットアンケート
 調査期間：2022年8月25日～2022年8月31日
 有効回答者数：5,225名
 ※調査結果は、四捨五入による端数処理のため、構成比が100%にならない場合があります。

— お問合せ先 —
 パーク24株式会社 コーポレートコミュニケーション部 担当者 渡邊・田中・中尾・花房
 電話：03-6747-8121 Eメール：pr@park24.co.jp ホームページ：https://www.park24.co.jp/